



シャローム shalom

No.178

2026.春号

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



新年度のご挨拶 ～全人医療の看護実践を目指して～ いわい かずみ 病院看護部長 岩井 和美

桜の花が彩る季節、フレッシュな新入職員を迎え新年度がスタートしました。いつも病院看護部に温かいご支援ご理解を賜り誠にありがとうございます。今年度もどうぞよろしく願い申し上げます。

日本バプテスト病院は開設以来、キリスト教精神に基づく「全人医療」を基本理念に掲げ、全人医療の実践を目指し、地域に根ざした病院として2025年に70周年を迎えました。この伝統を矜持とし、看護部では、キリスト教の隣人愛に基づく「科学的根拠を備えた温かい思いやりを持った看護(Tender Loving Care)」の実践を目指しています。看護職員一人ひとりが、患者さんを「からだ・こころ・たましい」を持つ存在として尊重し、患者さんに関心をもって話に耳を傾けることを大切にしています。

これらを踏まえて、2026年度看護部は目標を4つ挙げています。

1つ目 一人ひとりに寄り添う丁寧で質の高い看護の提供です。全人医療の実践者として最も重要と考え、患者さん・家族さ

んとの信頼関係構築と安心・安全な療養環境の整備に取り組みます。

2つ目 働き方改革の推進に向けて、働きやすい職場環境を整えることです。看護職・介護職の確保・定着、看護師のタスクシフト/シェア、医療DXの推進についても多職種協働で継続的に取り組みます。同時に個々の職員の健康づくりも支援します。

3つ目 看護専門職としてのキャリア継続の支援を行います。次世代の看護管理者の育成や、認定看護師が専門分野で活動の場を広げられよう支援を強化します。

4つ目 効果的・計画的な経営参画の体制づくりを進めます。令和8年度診療報酬改定に伴い、特に看護に関連する改定内容に対応できるよう、職種を越えての協力のもと取り組んでまいります。

以上、目標をご紹介いたしました。これからも職員一同、全人医療の実践を目指し、地域の皆様に信頼していただける看護部として努力してまいります。ご指導どうぞよろしくお願い申し上げます。

News

大会長賞 受賞のお知らせ

2026年1月10日に大阪で開催された第11回日本精神・心理療学会学術大会で、当院の浅野大喜理学療法士が「定型発達および脳性麻痺を有する子どもの抑うつ傾向と関連因子の比較:横断的比較研究」という演題で大会長賞を受賞いたしました。この研究は、別府発達医療センターや埼玉県立小児医療センターとの共同研究で実施されたものとなっております。



Relay Column

バプテスト老健 リレーコラム

vol.24

老人保健施設における認知症予防の
取り組みについて

ふくだ さちこ
作業療法士 福田 佐知子



老人保健施設では、認知症予防を目的としたリハビリテーションを行っています。内容は簡単な計算、漢字書き取りなどの学習課題、数字並べ、歌、回想法、刺し子刺繍や編み物、折り紙といった手芸などがあります。



これらを行うことで、脳の血流を促し注意や集中、記憶などの認知機能の向上や心の安定といった効果が期待できます。

学習課題は本人にとって難しすぎるものよりも、少し簡単だなと思うものをすらすら解く方が脳の前頭葉の血流がアップするといわれています。(※川島隆太教授の研究)また、編み物や刺し子など、昔親しんだものを手にすると手続き記憶(習慣になっている記憶)がよみがえり、自然と編み進められたり、「小さいころ母がブラウスを縫ってくれてね」などと家族様との思い出を懐かしそうに話される方もいます。

好まれる活動はそれぞれですが、学習課題に熱心に取り組まれる姿や、作品を完成させた時の嬉しそうな笑顔を見ると私もやりがいを感じ、利用者様から元気をもらっています。

これからも、リハビリテーションを通して利用者様の支援を続けて行きたいと思っております。



薬でつなぐ ちよつといい話

vol.51 抗ヒスタミン薬と 眠気について

おばら かな
薬剤部 小原 佳奈



花粉の飛散が多くなり、鼻水や目の痒みなどに悩まれる方も増えるこの時期。薬を活用し対策されている方もいらっしゃると思います。今回は花粉症においてよく処方される抗ヒスタミン薬と眠気についてお話しします。

抗ヒスタミン薬は、体内でアレルギー反応に関与するヒスタミンの働きを抑えることで鼻水、かゆみといった症状を改善するお薬です。上記に加えて、このヒスタミンは脳内においては睡眠、食欲、認知の機能にも関わっています。そのため、薬により抑制されることで眠気や集中力の低下も副反応として生じてしまうのです。

こうした反応から、服用後は自動車や自転車の運転をしてはならないと分類されている薬もあります。抗ヒスタミン薬の中でも初期に誕生した、第一世代の薬剤は即効性や効果が強い反面、全て運転禁止の薬剤に指定されています。一方で現在治療の主流となっている第二世代の薬剤は運転禁止から運転注意、注意の必要のないものまで分類は様々です。

薬の効果や眠気の見方は個人により異なるため、運転を避けられない方や服用されている薬による眠気でお悩みの際は医療機関へご相談ください。





健康・栄養

第61回 ～感染成立の3つの要因と感染対策と食生活～

感染管理認定看護師
いまえりか
今江 利香

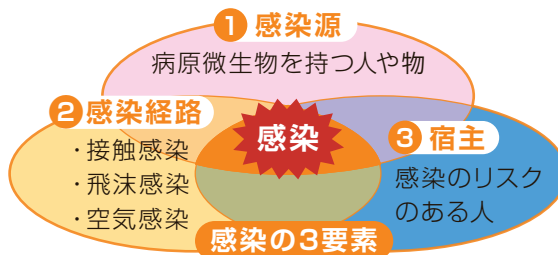


感染症は、

① 感染源 ② 感染経路 ③ 宿主 (感染のリスクのある人)

の3つの要因が揃うことで感染が成立します。

感染対策は、これらの要因のうち「1つ」でも取り除くことが大切です。今回は具体的な感染症対策を2つお届けします。



感染対策の王道 — 感染経路を「断ち切る」—

感染を拡大しないためにもとても重要な対策で、その方法としてはこれらの項目が挙げられます。

 手を清潔にする	 正しくマスクを着用する	 換気をする	 環境を清潔にする
-------------	-----------------	-----------	--------------

食生活から身を守る — 色の濃い野菜を積極的に摂る —

宿主(感染するおそれのある人)が日常の食生活で、次の食物と他の食物をバランスよく摂ることで、細胞の老化を招く活性酸素を抑える「抗酸化作用」が高く、免疫力を高めることに役立ちます。

<p>アントシアニンが 含まれる食物</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ナス ■紫キャベツ ■紫いも ■黒豆 ■ブルーベリー など 	<p>リコピン・β-カロテンが 含まれる食物</p> <ul style="list-style-type: none"> ■トマト ■人参 ■かぼちゃ など 	<p>ビタミンC・葉酸が 含まれる食物</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ほうれんそう ■ブロッコリー ■ケール など
--	---	--

感染対策の王道で感染経路を断ち切ることと共に、

免疫力を高めるバランスの良い食事や良質な休息で、体の免疫力を高めていきましょう。

引用参考:厚生労働省「感染対策の基礎知識」厚生労働省 健康日本21 アクション支援システム～健康づくりサポートネット～

聖書の小道

第68回

「一步一步と」

あなたの御言葉は、

わたしの道の光

わたしの歩みを照らす灯。

詩編119編105節

みやがわ ゆみこ
牧師・チャプレン 宮川 裕美子



医療団ではお昼の礼拝が行われています。高齢のクリスチャンの方が参加をされていた時のことです。ある日の礼拝のお誘いに行くと布団に入って眠っておられました。病棟のスタッフが「礼拝ですよ」と声をかけながら布団をめくると、袖口に縦に四つ折りした礼拝プリントが差し込まれていました。礼拝に忘れないようにと知恵と工夫を凝らした準備です。その日その方はチャペルの壁にかけられた標語聖句の書を大きな声で読誦され、そして「恵みです」と言って帰って行かれました。100歳近い方が礼拝を覚えて参加され、そして一語一語を丁寧にかつ朗々と読み上げられる姿を見て、左記の御言葉を体現して歩んでこられたように思われました。

神様の御言葉は「道の光」「灯」と言われます。灯は小さな光で、遠くを明るく灯すことはありませんが、足元を照らし、一步一步と導いてくれる光です。周りが闇に包まれていても、先が見渡せずとも、御言葉がわたしの進むべき道を照らしてくれる、そのことに励まされて一步一步と、確かに歩んでいきたいと思えます。

お知らせ こどもの渡航外来を始めました

渡航外来は、原則16歳以上の方のみを対象にしておりますが、中学生以下のお子さんにもご利用いただけることになりました。

中学生以下の方は「こども割」があり、初診料と再診料が20%割引になります。

海外で生活もしくは旅行を予定されており、ワクチン接種や健康面で気になることがございましたらお問い合わせください。

※当外来にかかる費用は自費となります。予めご了承ください。

イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課

TEL 075-702-5926

献金・献品 感謝ご報告 (2025.11.1-2026.1.31) 敬称略

上原 寿々子・ご息女 木原 静 野牧 一弘
佐藤 國弘 島添 修一・藤子 山本 正太郎
宇野 裕介 学校法人 西南幼稚園
西南学院バプテスト教会 岩谷 夏代
同志社女子高等学校 畑田 正子
認定こども園紫野幼稚園 山内 正
谷川 紀代子 ペスタロッチ保育園



活動内容

- ・ティーサービスとお話し相手(曜日固定)、お散歩、見守り、ベッドまわりの整理整頓
- ・ホスピスの環境整備
- ・ベランダやロビーの植物の水やりやお花のお世話
- ・月に数回あるイベントのサポート(季節の行事やコンサート等の写真撮影や車椅子・ベッドの誘導)
- ・季節の飾りつけ(ひな祭り・端午の節句・クリスマス等)

ご応募方法

ホスピスボランティア応募と明記し、氏名・住所・年齢・電話番号とメールアドレス、簡単な応募の動機や自己PRをお書きのうえ、メールまたはFAXでお送りください。応募を確認次第、こちらよりご連絡致します。その後、当院までお越しいただき、簡単な面接と書類手続き、研修等が必要です。(近親者を1年以内に亡くされた方のご応募はご遠慮いただいております)

お問い合わせ

TEL 075-702-5988

FAX 075-701-9996

Mail volunteer@jbh.or.jp

担当 総務課 松屋

ホスピスマンスリーブログは
こちらから♥



日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだど、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.178 2026年4月発行

発行/一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人/代表理事 尼川 龍一 編集/日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <https://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <https://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト訪問看護ステーション しおん <https://www.jbh.or.jp/shion.html>

バプテスト在宅介護支援事業所 <https://www.jbh.or.jp/kyotaku.html>